

夏の白昼夢

「茶話本舗」。全国で800近いデイサービス事業所を展開する、業界のトップリーダーである。要介護の高齢者を日中に預かることをデイサービスと呼ぶが、茶話本舗の「売り」は宿泊

介護疲れ、介護退職、老老介護。超高齢化を迎えている日本社会は、「介護地獄」という難題に直面している。高齢者の面倒を見てくれる施設は欠くことができないが、無論、安全が保障されていないければ身内を預けられるものではない。業界最大手の「ブランド」は、安心感の最たるものと言えるだろう。だが、実情は些が異なるようである。

6 「認知症老人」を縛り付けて猿ぐつわという「茶話本舗」虐待デイサービス

分けの良い子が多いので、簡単に信じてしまう」
同高の教頭は、
「授業内容に偏りが無いように常に意識させています。」

今回の授業もさまざまな意見を同時に伝えていたと聞いておりますが……。今後授業内容を検討します」と述べると、今すぐに授業をやり直すべきであろう。いずれ人の親となる生徒もいる。その時、この誤った認識を次代に継承しないという保証はないのだから。

「茶話本舗」は泊まりデイサービス。38歳の藤田英明会長は、
「介護は福祉ではなく、産業であるべきだ」(2月17日付朝日新聞朝刊)
と語るなど、度々、メディアに登場し、「介護界の寵児」扱ひされている。介護・医療ジャーナリストの長岡美代氏が解説するには、
「茶話本舗はお泊まりデイサービスの先駆け。1泊800円という安さで事業を拡大し、利用者のご家族からの人気も高い。ただ、ビジネス優先のため、さまざまなトラブルが起きていたのではないかと懸念していました」
実際、埼玉県内にある、

茶話本舗のさる事業所の関係者はこう証言する。
「茶話本舗では利用定員について日中が1日10人、夜は5人と決められているんですが、この事業所では夜でも10人近くを受け入れたり、病院などに営業攻勢を掛ける功利的な傾向があつて、介護における丁寧さに欠けている印象です。最近も、男性老人が酷い仕打ちを受けたと聞きました。その男性は70代だそうで、彼のぞんざいな扱われ方を撮った写真を見て驚きました」

別の関係者が後を受ける。「その男性は5月24日に奥さんとケアマネージャーに

「茶話本舗では利用定員について日中が1日10人、夜は5人と決められているんですが、この事業所では夜でも10人近くを受け入れたり、病院などに営業攻勢を掛ける功利的な傾向があつて、介護における丁寧さに欠けている印象です。最近も、男性老人が酷い仕打ちを受けたと聞きました。その男性は70代だそうで、彼のぞんざいな扱われ方を撮った写真を見て驚きました」

「茶話本舗では利用定員について日中が1日10人、夜は5人と決められているんですが、この事業所では夜でも10人近くを受け入れたり、病院などに営業攻勢を掛ける功利的な傾向があつて、介護における丁寧さに欠けている印象です。最近も、男性老人が酷い仕打ちを受けたと聞きました。その男性は70代だそうで、彼のぞんざいな扱われ方を撮った写真を見て驚きました」

「これは虐待です。介護従事者のモラルが欠如している。手に負えないなら、引き受けるべきではなかった。家族にその事業所を紹介したケアマネージャーにも責

「入所1週間後には2階の事務所スペースで腰にサラシ、腕にガムテープを巻きつけられ、ポータブルトイレに拘束された(写真左)。以後も、男性には類似の「措置」が取られています」
(同)
いくら対処に困ったからだとしても、これではデイサービスとは到底言えまい。先の長岡氏が嘆く。
「これは虐待です。介護従事者のモラルが欠如している。手に負えないなら、引き受けるべきではなかった。家族にその事業所を紹介したケアマネージャーにも責

連れられてきた。脳梗塞の後遺症らしく、自らの希望を言葉にすることができない状態であるのに加えて、明らかに認知症。入所後すぐに大声を出したり、暴れたりしたので、事業所の人間が鍵の掛かる1階の洗面所に連れて行き、男性にハンドタオルで猿ぐつわをはめています(写真右)」
その後も、男性は同事業所に滞在を続けたが、

「弊社からの回答は控えさせていただきます」(茶話本舗を展開する日本介護福祉グループ)利用者やその家族から、次のような指摘をされる前に、茶話本舗には適切な対処が望まれる。業界最大手と聞いて安心していただけなのに、看板倒れの「詐話」だったのかと――。

任があります。お泊まりデイサービスは保険外サービスで、自治体への届け出もいらない。素人でも開業できるので、過去には利用者への暴力で職員が逮捕された事件も起きています」
茶話本舗側は、
「弊社からの回答は控えさせていただきます」(茶話本舗を展開する日本介護福祉グループ)利用者やその家族から、次のような指摘をされる前に、茶話本舗には適切な対処が望まれる。業界最大手と聞いて安心していただけなのに、看板倒れの「詐話」だったのかと――。



現場写真